

第10回 大宮グランドセントラルステーション推進会議 まちづくり推進部会

日時：平成30年8月24日(金) 15:00～17:00

会場：大宮区役所6階 大会議室

次 第

1. 開 会

2. 報告事項

- (1) 第6回大宮 GCS 推進会議について
- (2) オープン会議について

3. 議 題

- (1) 検討スケジュールについて
- (2) ガイドライン素案の作成について
- (3) 行政改良案の作成について

4. その他

5. 閉 会

第 6 回 GCS 推進会議 議事概要

項目	委員	ご意見等
検討項目 とスケジ ュールに ついて	岸井 教授	駅の改良、駅とまち、交通広場を含めた全体の機能配置の問題については、それぞれの立場を勘案しながら、誰がお金を出すのか、どれだけの交通量が必要なのかなど、定量的に押さえながら検討していただきたい。
		今後、案を絞り込むときに、それぞれメリット・デメリットがあり、地区の熟度や、事業展開等を議論し、皆さんが合意しやすい案を絞り込んでいくことが必要。
		これから 10 年、20 年すると自動運転が出てくるだろう。自動運転では一番降りたいところで降りて、勝手に駐車場に車が入っていく。待合のスペースをしっかりとっておくということも、長い目で見れば考えておく必要があると思う。
	久保田 教授	駐車場を地下でネットワークするというアイデアが出ているが、それぞれのビルごとにどういうニーズの駐車場がどれくらい必要かという議論があり、地下何階で作る、ネットワークはこうするというのを早く決めておかないとできない話である。
	窪田 教授	デッキレベルと地上階をいろいろなレベル差で繋げていきたいという意見を反映できるように調整していただきたい。
		土地の所有者のご意見は重要だが、市民と一緒に駅前空間を作っていくというのが今回の大きなチャレンジの 1 つでもある。市民とのやりとりは検討手順の中に反映するべき。
	西地区	構想実現案と駅改良計画の検討の進み具合があっていないのではないかと懸念している。西地区は線路に面したエリアであり、地区内で固まったものが駅の計画によって、覆されるということがあるのではないかと懸念している。
	中地区	駅改良計画の中で駅の改札を外に向けることや、中央コンコースから真っすぐ外に出られるようにするなど、民間街区へどう誘導していくのかを検討するべき。
南地区	今後、スタディパターンを絞り込んでいくための地区間の調整がパブリックスペースの部分という考え方でよいのか。	
UDCO	ガイドラインの議論の中では、グランドレベルの位置づけをしっかりと盛り込んでいこうと考えている。境界のエッジの部分の人の流れ、まちから駅のつながりが必要になってくる。駅の高さからグランドレベルにどのように人を降ろしていくかという具体的な議論が必要になってくる。	

項目	委員	ご意見等
構想実現案の作成に向けて	岸井教授	交流広場として大きなデッキをかけるのは、デッキ上はいいが、下が暗くなってしまう。他地区の事例を見ると慎重にやらないといけない。
		バス、タクシーがどのように入ってくるのが望ましいと考えているのか、定量的な話として押さえていただきたい。現在の駅前広場よりも使う人によっては乗り換えが不便になっているので、もう少し工夫ができないか。
	久保田教授	駅側がどうなるのかという結論が出ないと構想実現案の議論もできない。JR、東武、市の3者の議論がいつごろまでかかるのか。そういうスケジュールリングをはっきりさせる時期に来ている。
	窪田教授	地上やまちのほう面白いですよということを追求できないか。通路から降りてきたら、いろいろな交流があって、だからこそ大宮に行くのだといわれるまちを作りたい。
	西地区	利用する方ありきの話だと思う。形だけ、箱だけのまちにならないよう、利用者目線に立ったストーリーを考え始めてもよいのではないか。
	埼玉県	GCS 構想が市民の意見も踏まえながら策定されたことについては、具体的な検討につながる大きな一歩だと思う。今後の検討がさらにスムーズに進むよう協力させていただきたい。
	東武鉄道	できるだけご利用の皆様に喜んでいただけるようなまちづくり構想ができ上がるようにスケジュール感を持って進めさせていただき、実のある方向に行きたい。
	JR東日本	中央と東西の2本の軸を中心としてまちに開かれた通路構成、ネットワークにするというのが基本である。東西自由通路についても、さいたま市、東武鉄道と密に検討し、しっかりとつながった、まちに開かれた回廊になるように今後も調整していきたい。
	国交省街路交通施設課	実際に大宮駅に見えられた方、大宮のまちに来られた方、ユーザー、お客様、皆さまにとって便利で楽しく快適な空間を作るところが大事である。
国交省都市鉄道政策課	東武鉄道大宮駅の移設については、かなり混雑して乗換利便性が低くなっている。新たな東西通路と既存の中央通路の両方が使えれば、乗換利便性が向上し、さらに各街区への人の流れがうまくいくような形で、鉄道駅の改良と合わせた都市側駅前広場などと一体的な向上が図られたほうがよいと思っている。	

GCS オープン会議 (UDCO meeting #002) について

本日 8 月 24 日に GCS オープン会議 (UDCO meeting #002) 「大宮のあり得べきパブリックスペースの姿」を開催致しました。

大宮駅グランドセントラルステーション (GCS) 化構想をはじめとして、大宮駅周辺の都市更新が計画されていく中で、広場や街路、駅とまちをつなぐ歩行者空間は大きく変化していくことが予想されます。本会では大宮駅グランドセントラルステーション推進会議における検討へつながる意見交換会として、大宮駅前を中心としたパブリックスペースをテーマに市民の皆様と議論を致しました。

- 日時 : 8 月 24 日 (金) 12:30~14:45
- 会場 : 大宮区役所 6 階会議室
- 対象者 : 居住・通勤・通学等により大宮駅周辺をご利用の方
- 主催 : UDCO、 協力 : さいたま市東日本交流拠点整備課・大宮駅東口まちづくり事務所

■ 次第

1. 開会・挨拶
2. 趣旨説明
3. 専門家レクチャー 中島直人先生 (東京大学大学院工学系研究科・准教授)
4. GCS 推進会議での検討状況
5. グループディスカッション 「大宮のあり得べきパブリックスペースの姿」
6. 発表・意見交換
7. 総評・閉会

《グループディスカッションにおける意見交換のテーマ》

「大宮のあり得べきパブリックスペースの姿」

- ① これからの大宮の街で実現したい暮らし方・過ごし方 (ライフスタイル)
- ② 上記を実現するために必要となるパブリックスペースの姿

上記 2 点について、参加者と意見交換をする中で、市民がパブリックスペースに期待するコトやモノを抽出することを目的としました。

第7回 GCS 推進会議に向けたロードマップ

